

第3章

地域別構想

第4節 阿寒地域

第4節 阿寒地域

地域づくり方針体系図

地域の将来像

地域の資源を活かしながら
自然、文化、産業が調和した住みよい地域

地域の特徴

阿寒本町地区は国道240号沿いに行政、商業、医療、福祉などの機能が集積された阿寒地域の拠点

釧路地域と比較して人口減少率が高い

釧路地域と比較して公共交通の利便性が低い

地域内を流れる阿寒川、舌辛川などの各河流域の平野部は、肥沃な土地が広がっており、農耕牧畜の好適地

徹別、仁々志別地域は、酪農を主体とした農業が基幹産業であり、豊かな自然環境と調和した農村地帯

阿寒摩周国立公園をはじめとする豊かな自然を有し、余暇活動など交流の場が形成

阿寒湖のアイヌ文化の特徴である高い工芸技術を継承、伝承していく必要がある

地域の特色を生かした観光産業に力を入れており、訪日外国人宿泊者数は釧路地域を上回るなど海外の関心が高い

マリモで有名な阿寒湖をはじめとする大小の湖沼、雌阿寒岳や雄阿寒岳などの雄大な原生林に囲まれ、優れた自然環境に恵まれた地域

活火山である雌阿寒岳周辺は、近年も数年おきに小規模な噴火が発生

市街地に近い阿寒川、舌辛川は過去に氾濫による浸水被害が発生

土砂災害警戒区域等に指定されている

主な住民意見

コンビニだけでは不安／車のない人も買い物に困らないまちに／道路の舗装がガタガタ／子供の遊び場が欲しい／バスの本数が少ない／高齢になっても車を手放しにくい／観光だけでなく住民も使いやすい交通

仕事のための住宅確保／地域の維持には農業振興が不可欠／地域の産品を加工する工場を誘致してはどうか／一次産業従事者不足への対策／市営牧場の機能向上

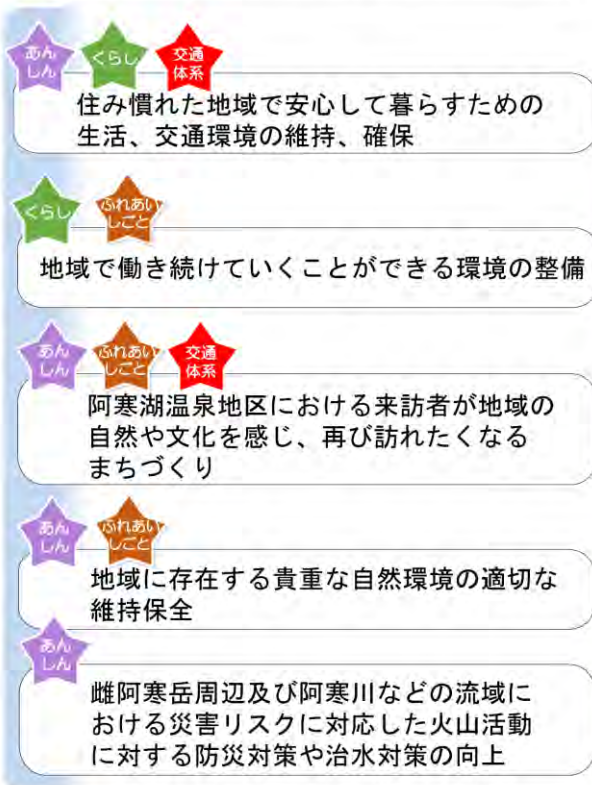
インターロッキングの浮き沈みがある／荒れた道路は観光地にとってマイナス／自然を生かした観光客の誘致

阿寒川と舌辛川に挟まれており、万が一の時不安／地域全体でマリモの研究、再生を

阿寒は災害に強いと思いきむ人が多い／防災無線が聞こえにくい／阿寒ICを災害時に活かしては／災害備蓄の確保を

阿寒地域の地域づくり方針体系図は、地域の将来像を達成するため、「地域の特徴」や「主な住民意見」を踏まえてまとめた「地域の主な課題」のほか、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」から導き出された「地域整備目標」について、それぞれ解決や達成するために示す「主な地域整備方針」を表したものです。

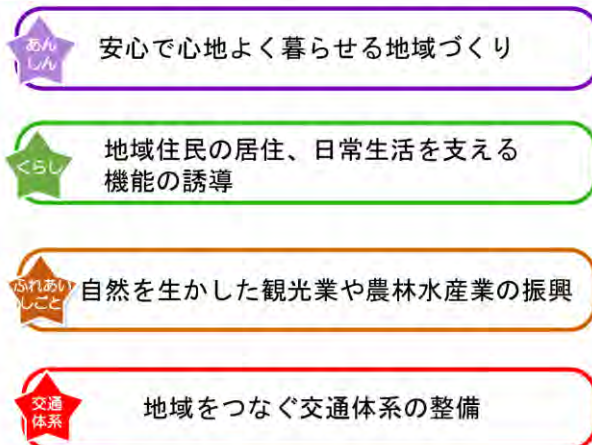
地域の主な課題



主な地域整備方針

- 国道240号における危険性の高い区間の安全対策の促進
- アイヌ文化の保存、継承、発展に資する環境整備
- 安全かつ地域の憩いの場となる河川環境の形成のための治水対策の促進
- 安定した水道水供給のため、浄水場の機能向上や機器設備などの改築
- 地域の衛生的な生活環境確保のため、下水道施設の計画的な改築、更新
- 雌阿寒岳の火山活動に対する防災対策
- 丘陵斜面地や樹林地の保全
- 豊かな自然環境の保全と調和した生活環境の維持
- 生活に密着した道路等の計画的な舗装補修や排水整備
- 地域で暮らし続けるための住宅整備をはじめとした取組みの推進
- 阿寒湖温泉地区の価値を高める観光振興策の充実
- 道道釧路阿寒自転車道線の舗装補修など適切な維持管理の促進
- 阿寒湖温泉地区へのアクセス向上
- 農業生産基盤の整備や優良な農用地の保全
- 森林の整備、保全
- 阿寒湖のマリモ、タンチョウなど貴重な動植物の保護
- 阿寒湖温泉地区中心部の道路における地域産業に根差した公共インフラ整備の検討
- 北海道横断自動車道 阿寒IC～釧路西IC間の整備促進
- デマンド型交通などによる生活の足の確保

地域整備目標

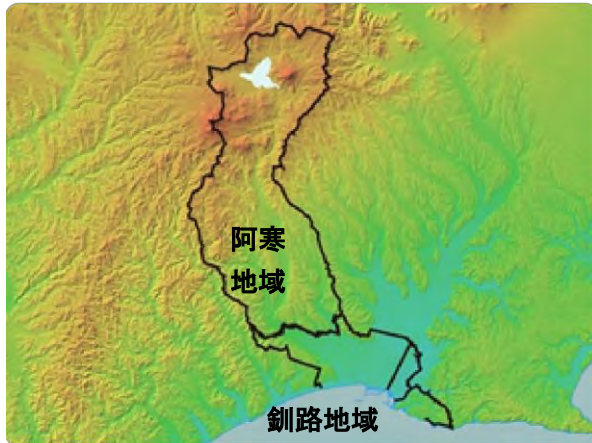


1 地域のあらし

阿寒地域は、北部に阿寒摩周国立公園が広がり、南部に平野部が広がる面積73,925haの地域です。本地域には*都市計画区域は指定されていません。

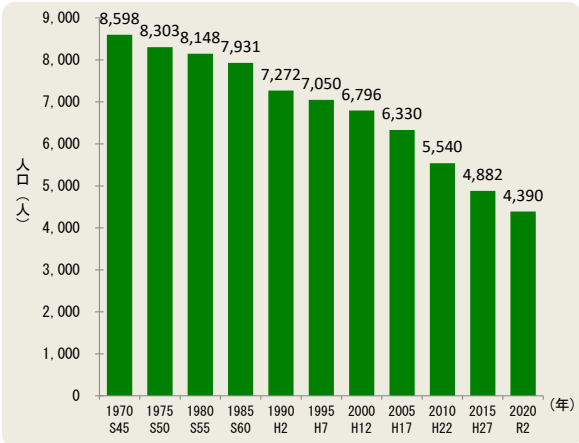
2020年(令和2年)の本地域の人口は4,390人で、本市の総人口の2.66%に相当します。

【阿寒地域の範囲】



色別標高図を加工して作成

【人口の推移】



出典：国勢調査

本地域の市街地が位置する阿寒本町地区は、国道240号沿いに市街地が形成され、行政、商業、医療、福祉などの機能が集積しています。

また、布伏内、徹別、仁々志別地区は豊かな自然環境、森林資源を有し、酪農を中心とした農家などが点在しているほか、北部に位置する阿寒湖温泉地区は、阿寒摩周国立公園をはじめとする豊かな自然を有し、余暇活動など交流の場の形成が図られています。



【阿寒本町地区市街地】

本地域には阿寒連山や魅力ある農村風景、阿寒川や舌辛川の昔ながらの自然が残る河川環境などがあり、豊かな自然が身近に感じられます。

また、マリモで有名な阿寒湖をはじめとする大小の湖沼、雌阿寒岳、雄阿寒岳などの雄大な原生林に囲まれ、優れた自然環境に恵まれた地域です。なお、活火山である雌阿寒岳周辺は、近年も数年おきに小規模な噴火が発生しています。



【冬の阿寒湖と雄阿寒岳】

近年では地域の特色を生かした観光産業に力を入れており、観光入込客数は北海道横断自動車道 阿寒ICの開通などの影響により2017年(平成29年)に約163万人を記録しました。また、訪日外国人宿泊者数は釧路地域を上回り続けており、海外からの関心が高い地域となっています。

【阿寒地域の観光入込客数などの推移】



出典：釧路市観光振興室資料

2 地域の主な課題

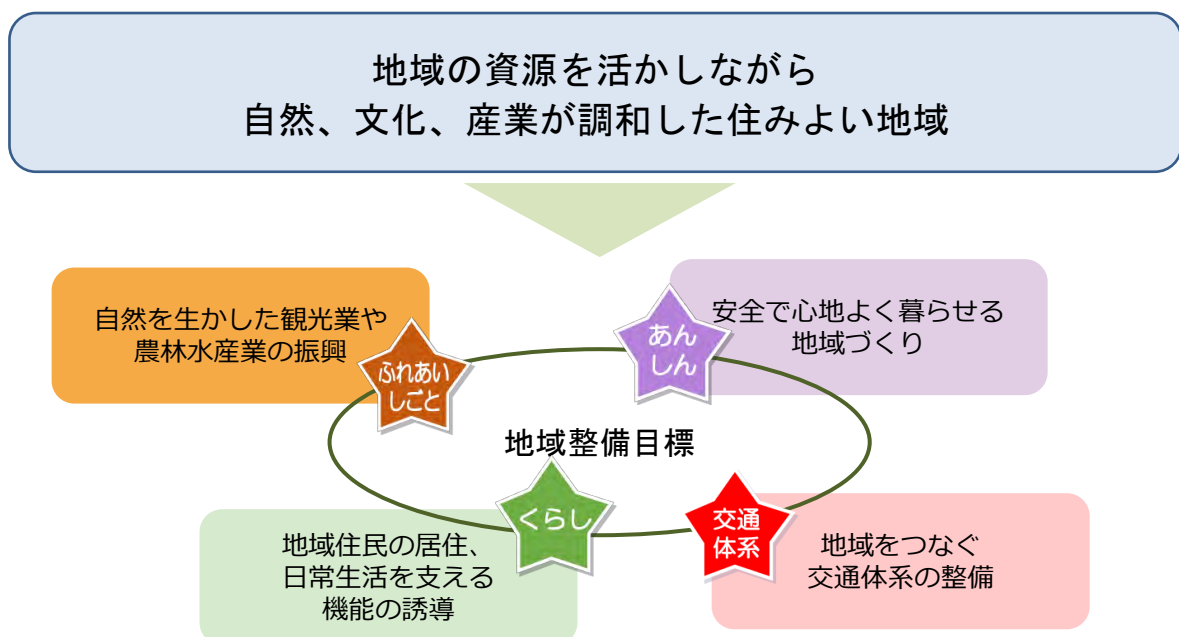
これまでの釧路市都市計画マスタープランや*雌阿寒岳火山防災計画などから抽出した「地域の特徴」、市民を対象とした各種アンケート調査の結果や地域懇談会、意見募集などを踏まえてまとめた「地域の主な課題」は次のとおりです。

- 少子高齢化が進行するなかでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域コミュニティの活性化や*生活利便施設、交通環境の維持、確保が求められています。
- 産業や都市活動を支える上で重要な地区である本地域の市街地及び阿寒湖温泉地区では、地域で働き続けていくことができる環境の整備が求められています。
- 阿寒湖温泉地区においては、来訪者が地域の自然や文化を感じ、再び訪れたいくなるまちづくりが求められています。
- 本地域に存在する貴重な自然環境について、適切な維持保全が求められています。
- 雌阿寒岳周辺及び阿寒川などの流域における災害リスクに対応した火山活動に対する防災対策や治水対策の向上が求められています。

3 地域の将来像と地域整備目標

基本的な考え方となる「地域の将来像」を次のとおり定めるとともに、地域の主な課題を踏まえ、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」を達成するための「地域整備目標」を定めます。

地域の将来像



4 地域整備方針

前項で示した地域整備目標ごとの「地域整備方針」を示します。



安全で心地よく暮らせる地域づくり

(交通体系)

- 国道240号における交通事故の危険性が高い区間の安全対策を促進します。

(都市環境)

- 地域の伝統的なアイヌ文化を生かしたまちづくりによる地域振興を図るため、文化の保存、継承、発展に資する環境整備を進めます。
- 緑の大きな軸である仁々志別川、阿寒川及び舌辛川においては、安全かつ地域の憩いの場となる河川環境の形成を図るため、浚渫や河畔林の伐採などの治水対策を促進します。



【阿寒湖アイヌシアター イコロ】

- 安定した水道水の供給や衛生的な生活環境を確保するため、上水道については浄水場の機能向上や機器設備などの改築、更新を進めるほか、下水道については施設の計画的な改築、更新を進めます。

(都市防災)

- 雌阿寒岳の火山活動における市民や観光客、登山客の安全を確保するための取組みについては、稼働中の火山監視システムの整備充実を推進するとともに、*ハザードマップなどを活用した、防災知識の普及、啓発を推進します。
- 斜面の崩壊や土砂流出などを防止するため、丘陵斜面地や樹林地の保全を図ります。



地域住民の居住、日常生活を支える機能の誘導

(土地利用)

- 既成市街地については、豊かな自然環境の保全と調和しながら地域の生産活動を支える生活環境の維持を図ります。
- 一体の都市として総合的に整備、開発及び保全に支障が生じるおそれがある区域については、地域の環境を適正に保持するため、準都市計画などの都市計画制度の活用を検討します。

(都市環境)

- 良好な生活環境の実現のため、生活に密着した道路や地域で重要な役割を果たす道路において、計画的な舗装補修や排水整備などを進めます。
- 地域で暮らし続けるための市営住宅の整備をはじめとした取り組みを効率的に進めます。



【国道 240 号沿いの桜並木】



自然を生かした観光業や農林水産業の振興

(土地利用)

- 観光、交流拠点である阿寒湖温泉地区が今後さらに価値を高め、国内外の観光客に選ばれるよう、関連施設の整備、受入環境の強化及び情報発信の取り組みを進めます。

(交通体系)

- 釧路西部地域と阿寒本町地域を結ぶ道道釧路阿寒自転車道線について、舗装補修など適切な維持管理を促進します。
- 阿寒湖温泉地区と釧路空港を結ぶ交通手段の維持確保など、アクセスの向上に努めます。

(都市環境)

- 農業地域については、農用地の生産性の向上を図るため、農業生産基盤の整備を計画的に進めます。また、自然環境や国土の保全などの多面的な機能の維持、増進を図るため、優良な農用地の保全を進めます。
- 森林地域については、木材生産などの経済的機能のほか、水源かん養、山地災害防止、地球温暖化防止及び市民の保健の向上などの公益的機能を高度に発揮するため、森林の整備、保全を進めます。
- 阿寒摩周国立公園に代表される原始的な自然環境の保全を促進するほか、阿寒湖のマリモ、タンチョウなど貴重な動植物を保護する取組みを進めます。
- 阿寒湖温泉地区中心部の道路については、防災機能の向上、安全性や快適性の確保、良好な道路景観形成の観点から、地域産業に根差した公共インフラ整備の検討を進めます。

交通
体系

地域をつなぐ交通体系の整備

(交通体系)

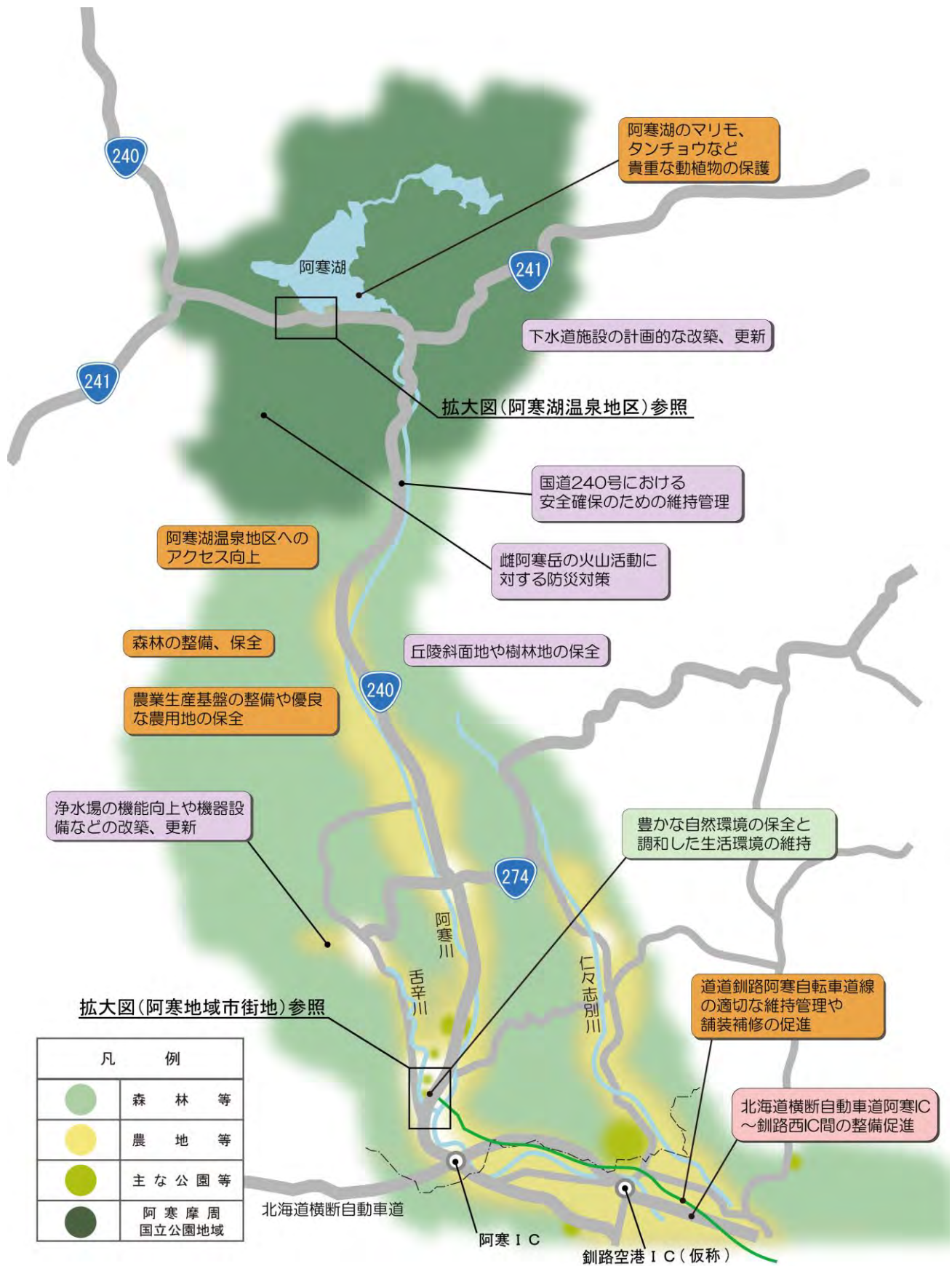
- 広域ネットワークの形成を進めるため、北海道横断自動車道阿寒IC～釧路西IC間の整備を促進します。
- 需要に応じた柔軟な移動手段である*デマンド型交通などにより、生活の足の確保に努めます。



【高速道路の親子現場見学会の様子】

【整備方針図】

整備方針図とは、全体構想で示した緑(自然)の構造図に、地域別構想で示した主な地域整備方針を表した図です。

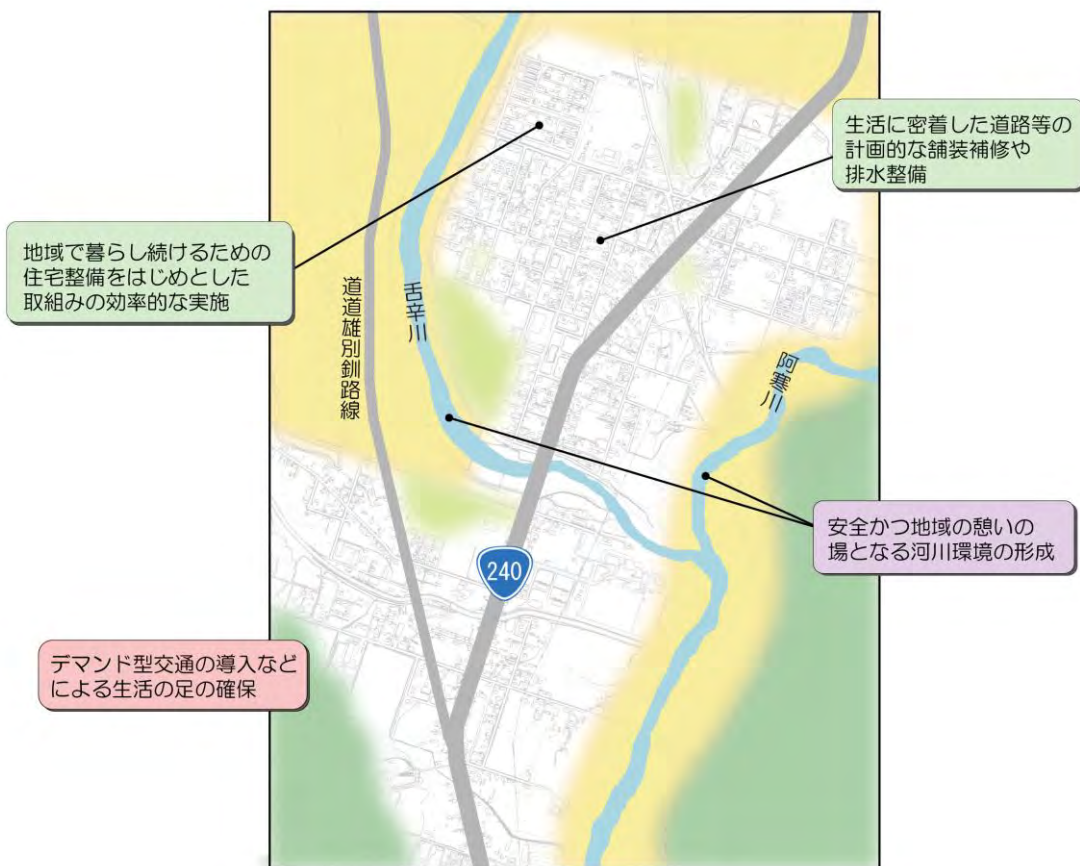




【阿寒湖温泉地区】



【阿寒地域市街地】



阿寒地域をこうしたい！

○地域を活性化させるためにどんなことをしたらいいか、83ページの「5 地域主体のまちづくり～まちのツボ～」を参考に市民の皆さんも考えてみましょう。

《特徴》ここはどんな地域(地区)か？

《課題》この地域(地区)にはどんな問題がある？

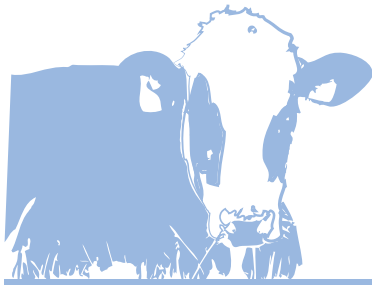
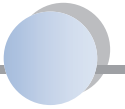
《目的、目標》この地域(地区)をどうしたい？

《何をする》目標を達成するためにどんなことをする？

短期的な取組み

長期的な取組み

《フリースペース》



第3章

地域別構想

第5節 音別地域

第5節 音別地域

地域づくり方針体系図

地域の将来像

豊かな自然に恵まれ、
生活環境と生産環境が調和した住みよい地域

地域の特徴

購買力の流失により小売販売額は減少傾向

人口減少率が他の地域よりも高い

酪農業では、高齢化などにより従業者が減少する一方で、機械の大型化や生産体制の向上により農業所得は増加

林業では、生産組織における従業者の不足や取扱事業の減少に伴い、経営環境は厳しい

良質な水に育まれた落やその皮を材料とした富貴紙(ふきがみ)は、地域の代表的な特産品であり、ほかにもキクイモ、エミューオイルなどの商品化事業を展開

自然豊かで地域の四季が感じられる風景として「音別新八景」が選定され、地域が誇れる魅力的な場所がある

地域の特徴ある街路灯の設置や通学路への街路樹の整備などのゆとりある街路景観づくりを進めてきた

北海道が示した津波浸水想定が市街地全域に広がる

主な住民意見

昔に比べ店が減っている／高齢者が地域の行事など役割を担っている／若い人が音別に定着できるように／少年団の団員減少／地域でリハビリを行う体制を充実してほしい

酪農家の離農を食い止める／長期的視点に立った林業の雇用の確保

地域内の雇用が少ない／富貴紙の工房があるとよい／憩いの森をグランピングの拠点に／溪流釣りが盛ん／地域資源の売り込みを効果的に

廃屋や空き家が気になる





住民のコミュニケーションを深めたい／避難マニュアルの作成や防災訓練を充実してほしい

音別地域の地域づくり方針体系図は、地域の将来像を達成するため、「地域の特徴」や「主な住民意見」を踏まえてまとめた「地域の主な課題」のほか、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」から導き出された「地域整備目標」について、それぞれ解決や達成するために示す「主な地域整備方針」を表したものです。

地域の主な課題

-   **交通体系**
住み慣れた地域で安心して暮らすための生活、交通環境の維持、確保
-  **しごと**
主産業である酪農業や林業の振興
-  **しごと**
自然資源や地場産品などの地域資源の活用
-  **あんしん**
釧路市の西の玄関口にふさわしい景観形成
-  **あんしん**
沿岸部及び低地における災害リスクに対応した流域治水対策や津波対策の向上

地域整備目標

-  **あんしん**
安心して心地よく暮らせる地域づくり
-  **くらし**
地域住民の居住、日常生活を支える機能の誘導
-  **しごと**
自然を生かした観光業や農林水産業の振興
-  **交通体系**
地域をつなぐ交通体系の整備

主な地域整備方針

- 国道沿いへの植花や道道の桜並木の適正管理など、公園や工場の緑地帯などと結びつけた緑の空間づくり
 - 本市の西の玄関口としての美しい景観の形成
 - 洪水などの被害防止及び自然と共生する川づくりの推進(音別川、尺別川、直別川)
 - パシクル沼やキナシベツ湿原の維持保全
 - 安定した水道水供給のため、浄水場の機能向上や機器設備などの改築、更新
 - 地域の衛生的な生活環境確保のため、下水道施設の計画的な改築、更新
 - 河川整備などによる低地における大雨時浸水対策の推進
 - 海岸保安林の整備促進
 - 避難困難地域の対策を含め、津波高や浸水深に応じた津波対策の検討
- 豊かな自然環境の保全と調和した生活環境の形成
 - 地域拠点としての商業業務、公共公益、文化機能などの維持
 - 様々な機能を集積させた地域の拠点となる施設の整備
 - 地域で暮らし続けるための住宅整備をはじめとした取組みの推進
- 農業生産基盤の計画的な整備
 - 優良な農用地の保全
 - 森林の整備、保全
 - 富貴紙の文化伝承と普及促進や生産拠点の整備
 - 地域振興や災害対策など大手飲料メーカーと連携した取組み
- 主要幹線道路(国道、道道)における道路機能の充実促進
 - 生活道路における適正な維持管理
 - デマンド型のコミュニティバスの運行などによる生活の足の確保
 - 地域住民の生活を支える鉄道網の維持、活性化

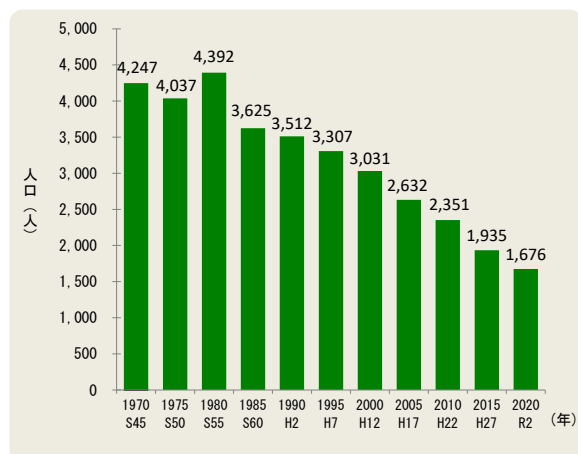
1 地域のあらまし

音別地域は、釧路管内の最西端に位置しており、阿寒山系の山麓に属する丘陵地帯が北西から南東に向かって広がる面積40,140haの地域で、そのうちの85%を森林が占めています。音別、尺別、直別、パシクルの各河川流域には平坦地が広がっています。本地域には*都市計画区域は指定されていません。

2020年(令和2年)の本地域の人口は1,676人で、本市の総人口の1.02%に相当します。

本地域の市街地が位置する音別原野は、音別川に沿って平地が形成され、太平洋岸に開けた平地に住宅や商店、工場が立ち並び市街地をつくっています。市街地の北方や尺別原野、直別原野及びキナシベツには、川沿いに農家が点在し冷涼な気候を生かした酪農地帯が広がっており、旧直別駅前に小連たんの市街地があります。

【人口の推移】

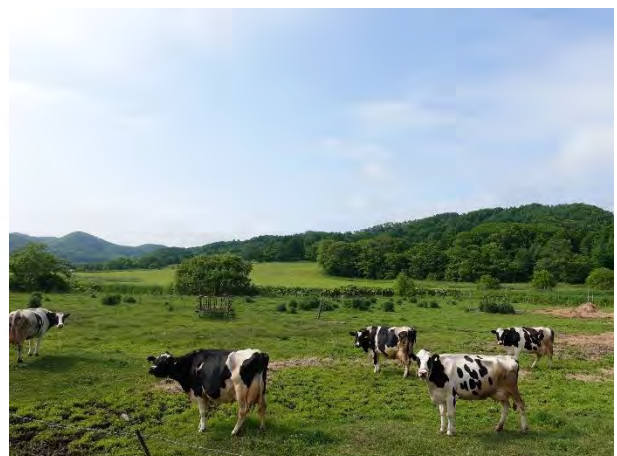


出典：国勢調査

本地域は飛び地で、釧路西部地域とは、国道38号及び根室本線(音別駅)によって連絡しています。また、地域の中央を道道本流音別停車場線が北部に伸びており、これらが地域の骨格を形成しています。



【音別市街地】



【市街地区の周辺に広がる酪農地帯】

2 地域の主な課題

これまでの釧路市都市計画マスタープランや*釧路市地域防災計画などから抽出した「地域の特徴」、市民を対象とした各種アンケート調査の結果や地域懇談会、意見募集などを踏まえてまとめた「地域の主な課題」は次のとおりです。

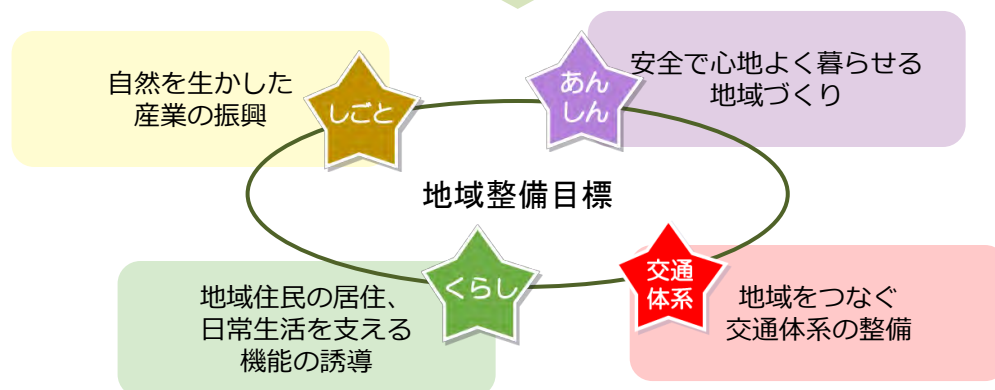
- 少子高齢化が進行するなかでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域コミュニティの活性化や*生活利便施設、交通環境の維持、確保が求められています。
- 本地域の主要産業である酪農業や林業の振興が求められています。
- 水と緑が広がるキナシベツ湿原やパシクル沼、大手飲料メーカーの原水源である音別川の清流、豊富な木質資源が眠る森林などの自然資源に加え、フキ、キクイモ、エミューなどの地場産品といった地域資源を活用した取組みの推進が求められています。
- 本市の西の玄関口にふさわしい景観形成が必要です。
- 沿岸部及び低地における災害リスクに対応した流域治水対策や津波対策の向上が必要です。

3 地域の将来像と地域整備目標

基本的な考え方となる「地域の将来像」を次のとおり定めるとともに、地域の主な課題を踏まえ、全体構想で掲げた「まちづくりの基本目標」を達成するための「地域整備目標」を定めます。

地域の将来像

豊かな自然に恵まれ、
生活環境と生産環境が調和した住みよい地域



4 地域整備方針

前項で示した地域整備目標ごとの「地域整備方針」を示します。



安全で心地よく暮らせる地域づくり

(都市環境)

- 国道38号沿いの花植えや、道道本流音別停車場線の桜並木を適正に管理するなど、公園や工場の緑地帯などと結びつけた緑の空間づくりを進めます。
- 本市の西の玄関口として美しい沿道の景観形成を進めます。
- 音別川、尺別川及び直別川については、洪水などによる被害を防止するため、関係機関との連携を図りながら、現況河畔林の保全や水辺空間の確保など自然と共存する川づくりを進めます。
- パシクル沼やキナシベツ湿原については、水辺空間と調和した海岸風景の維持保全を図ります。
- 安定した水道水の供給や衛生的な生活環境を確保するため、上水道については浄水場の機能向上や機器設備などの改築、更新を進めるほか、下水道については施設の計画的な改築、更新を進めます。

(都市防災)

- 低地などにおける大雨時の浸水については、河川整備などによる流域治水対策を進めます。
- 飛砂や風害を防ぐとともに、津波の被害軽減効果が期待される海岸保安林の整備を促進します。
- 北海道が示した津波浸水想定が市街地全域に広がる地域であることから、避難困難地域の対策を含め、津波高や浸水深に応じた津波対策の検討を進めます。



地域住民の居住、日常生活を支える機能の誘導

(土地利用)

- 既成市街地については、豊かな自然環境の保全と調和しながら地域の生産活動を支える生活環境の維持を図ります。

- 一体の都市として総合的に整備、開発及び保全に支障が生じるおそれがある区域については、地域の環境を適正に保持するため、準都市計画などの都市計画制度の活用を検討します。

(都市環境)

- 地域拠点として、地域住民の居住、日常生活を支える商業業務、身近な公共公益、文化機能などの維持を図るとともに、様々な機能を集積させた地域の拠点となる施設の整備を進めます。
- 地域で暮らし続けるための市営住宅の整備をはじめとした取組みを効率的に進めます。



自然を生かした産業の振興

(土地利用)

- 農業地域については、農用地の生産性の向上を図るため、農業生産基盤の整備を計画的に進めます。
- 自然環境や国土の保全などの多面的な機能の維持、増進を図るため、優良な農用地の保全を進めます。
- 森林地域については、木材生産などの経済的機能のほか、水源かん養、山地災害防止、地球温暖化防止及び市民の保健の向上などの公益的機能を高度に発揮するため、森林の整備、保全を進めます。



【蕎麦(ふき)の収穫圃場】

(都市環境)

- 本地域の特産品である蕎麦(ふき)を活用した全国で唯一の和紙「富貴紙(ふきがみ)」の紙すき文化の伝承と普及促進、生産拠点の整備を進めます。



【富貴紙を用いた扇子】

- 地域振興や災害対策などについて、本地域に立地する大手飲料メーカーと連携した取組みを進めます。

交通
体系

地域をつなぐ交通体系の整備

(交通体系)

- 道道本流音別停車場線における歩道の拡幅など、主要幹線道路の機能の充実を促進するほか、生活道路では、だれもが安心して快適に通行できるよう、適切な維持管理を進めます。
- 需要に応じた柔軟な移動手段である*デマンド型交通などにより、生活の足の確保を図ります。
- 鉄道については、乗り継ぎを考慮したコミュニティバスの運行ダイヤの設定など、関係機関と連携し、鉄道網の維持、活性化のための取組みを進めていきます。



【生活道路】

音別新八景

本市では、「音別の新たな魅力を発掘しよう」と題し、音別地域の四季折々の風景などの写真募集を行い、平成27年12月に音別新八景を選定しています。



【小音別川上流の滝】



【ふれあいの森】



【上音別桜並木街道】



【音別川のタンチョウ】



【三滝の沼】



【パシクル湖畔の夕日】



【音別の丘からの眺望】



【尺別の丘からの眺望】

【整備方針図】

整備方針図とは、全体構想で示した緑(自然)の構造図に、地域別構想で示した主な地域整備方針を表した図です。



【音別地域市街地】



音別地域をこうしたい！

○地域を活性化させるためにどんなことをしたらいいか、83ページの「5 地域主体のまちづくり～まちのツボ～」を参考に市民の皆さんも考えてみましょう。

《特徴》ここはどんな地域(地区)か？

《課題》この地域(地区)にはどんな問題がある？

《目的、目標》この地域(地区)をどうしたい？

《何をする》目標を達成するためにどんなことをする？

短期的な取組み

長期的な取組み

《フリースペース》